



4月19日、舟蔵公園(旧児童公園)で登野城、石垣、新栄保育所の園児103名が参加し、市主催のこいのぼり掲揚式が行われました。大瀬市長から「こいのぼりに負けないくらい元気な子どもになってください」とのあいさつのおり、大空に泳ぐこいのぼりの下、元気に園児たちがおゆうぎを楽しみました。

## 人口と世帯数

総人口	46,332(+ 15)
男	23,169(+ 35)
女	23,163(- 20)
世帯数	19,296(+ 35)

(平成17年2月末日現在)

## 今月の主な内容

- 救急診療所閉鎖……………2
- 回想とうばらーま募集……………9
- 平成17年度予算……………3, 4, 5
- お知らせ……………10
- おはよう口マンメッセージ……………6
- 石垣島5年連続全国1位……………11
- 固定資産税とは……………7
- 市民カレンダー……………12
- 民生委員……………8



編集・発行／沖縄県石垣市美崎町14番地 石垣市総務部広報広聴課  
TEL. (0980) 82-9911(代)・(0980) 82-1243(直)・Fax. (0980) 83-1427



# 三十万人余の市民が受診

## 石垣市救急診療所を閉鎖 三十一年の歴史に幕

四月一日、石垣市救急診療所閉鎖式が行われました。

閉鎖式では、大濱長照市長が「これまで県立八重山病院の医師や地域の医師の協力のおかげで石垣市の救急医療業務が運営できた。同診療所は閉鎖するが八重山病院救急へ市職員である医師・看護師を派遣し、さらに充実した安全・安心な救急体制を図りたい。」と述べました。また、八重山地区医師会へ感謝状を贈り、これまでの同診療所への協力に感謝しました。

の長期にわたり石垣市民の命と健康を護ってきました。

設立当初から医師不足や医療設備の不備等で離島へき地の診療苦を味わうこともしばしばありましたが、昭和六十二年より医師二人体制を確保し、八重山地区医師会や県立八重山病院医師の献身的な協力を得て、救急医療業務を維持してきました。延べ三十万九千人余の市民が診療を受けており、その果たしてきた役割は大きなものであります。

同診療所は昭和四十八年八月二日に日赤分院(新川)の建物を借り受け石垣市立夜間診療所として設置され、三十一年間

近年の民間医療機関の増加と時間延長・二十四時間診療などにより救急・夜間医療の体制が整ってきたこと、また、その影



診療所の看板が大濱市長、知会議長の手で取り外された

響で同診療所への受診者も減っていることなどから、関係機関と検討・調整を重ねた結果、閉鎖後の救急医療体制が維持されると判断し、今回の閉鎖となりました。

閉鎖式の最後に、大濱市長と知念市議会議長により同診療所の看板が取り外され、三十一年間の歴史に幕を閉じました。看板は、市立博物館に保存されることとなります。

## 石垣市・竹富町の合併ならず

### 厳しい地方財政下で自立の道を模索

三月二十五日に開かれた石垣市議会最終本会議で、石垣市、竹富町の合併の賛否が決議され、石垣市議会は「合併」を選択しました。しかし、同日に行われた竹富町議会では合併を否決、二十八日の臨時町議会でも重ねて合併を否決し、平成十七年三月三十一日を期限とする合併特例法の中の「八重山市」は幻となりました。

平成十五年より石垣市、与那国町による八重山地域合併協議会を設立し、竹富町も加わる

## 警報発令時の対応が迅速化

### 緊急時一斉放送システムが稼動

四月一日、緊急時一斉放送システムが運用開始となり、開始式が市消防本部で行われました。式では、テープカットが行われたあと、大濱市長により、運用開始を知らせる運用開始宣言が、同システムで行われました。大濱市長は「津波発生など情報の収集は容易であったが、それを市民に迅速に伝える手段がなかった。このシステムを有効に活用し、災害に備えていきたい。」とあいさつし、市民と共につく

る災害に強いまちづくりを訴えました。また、知念市議会議長が「同システムの導入は時機を得ており、有効活用を行ってほしい。」と祝辞を述べました。

同システムは親局設備を市消防庁舎に設置し、公民館、学校や海岸線などに設置された二十一箇所の子局(屋外拡声器)に無線により、警報発令など各種情報を迅速に伝達することが可能となりました。従来の警報発令時の広報車などによる市民への周知に比べ、情報伝達が大幅に迅速化し、災害発生時に大きな効果を発揮します。



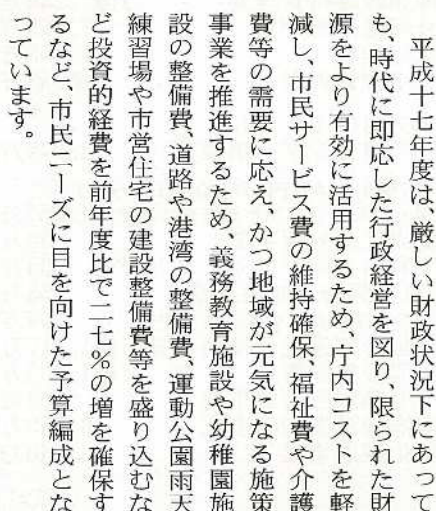
運用開始宣言を行う大濱市長

など八重山は一つという理念の下、八重山圏域の将来を展望してきました。与那国町では、昨年十月に行われた合併の賛否を問う住民投票で「合併反対」、同町単独での自立の道を選択し、同協議会から離脱するという経緯をたどってきています。

合併賛成の民意が町議会に反映されなかったことは、非常に残念だ。しかし、八重山は一つということに変わりはなく、今後八重山の将来を展望していきたい。」と述べ、石垣市・八重山の将来を見据えた市政運営への誓いを新たにしました。



平成十七年度一般会計予算総額一八七億八、八三〇万円



この不均衡に對し、歳出では職員給与のカットなど人件費総額を約四億六、〇〇〇万円程度圧縮、歳出ではこれまで据え置いてきた住民票等の発行手数料を県内一〇市並に改定し、施設等の使用料を受益者（利用者）負担の原則に基づき、適正な見直しを行うなど約三、七〇〇万円程度の歳入の確保を図り、収支不均衡を回避してきました。

平成十七年度の当初予算は、歳入歳出とも総額で一八七億八、八三〇万円で、前年度と比べ六億七、二五〇万円、三七%の増額となりました。

平成十六年度の予算編成において、国の「三位一体の改革」の進め方が一体的でなく、地方交付税（臨時財政対策債含む）の約七億五、〇〇〇万円の減と国庫補助負担金約二億三、〇〇〇万円の減に対し、税源移譲はわずか七、〇〇〇万円程度にとどまり、結果的に数億円程度の収支不均衡が生じました。

## ことば



国、地方自治体(都道府県・市町村)の予算は単年度予算となっており、一年ごとに予算を組み事業を進める仕組みとなっている。

「国庫補助負担金の廃止・縮減」「地方交付税の改革」  
「国から地方への税源移譲」を同時一体に進め、国  
の関与を縮小し、地方が自ら決定する地方分権の実  
現へ向けた地方行財政制度改革の改革。

地方公共団体の財源不足や団体間の財政不均衡を是正し、その事務を遂行できるように国から地方公共団体へ交付される資金。国税収入のうちから一定の比率で交付される。

法令や制度で国が支出・負担を義務付けられている  
補助金や負担金、委託金。

生活保護・国民健康保険・介護保険・児童福祉などの  
社会保障制度にかかる予算。

国および地方公共団体が、債券の発行を通じて行う借金により負う債務。



## 歳出(一般会計)

### ～目的別～

議会費 2億3,707万円(▲339万円)

・議会費 2億1,262万円

総務費 21億9,497万円(▲3億7,031万円)

・市有地測量分筆登記委託事業 500万円  
・とうもろネット整備事業 4億3,321万円  
・国勢調査費 2,204万円  
・ラムサール条約対策費 231万円  
・農産物利用拡大事業 645万円

民生費 48億5,577万円(▲2,301万円)

・認可移行促進事業 200万円  
・放課後児童健全育成事業 350万円  
・保育所施設整備費 6,044万円  
・生活保護費 10億1,451万円  
・介護保険予防事業 3億9,051万円  
・国民健康保険事業 4億4,786万円  
・更生援護費 3億5,108万円

衛生費 14億4,526万円(▲1,748万円)

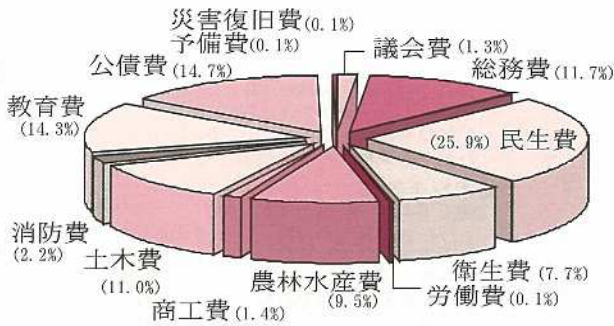
・精神障がい者生活支援助成事業 330万円  
・老人医療給付費 2億3,786万円  
・乳幼児医療費助成事業 4,956万円  
・健康診査事業 7,128万円  
・ごみ処理施設維持管理費 2億7,230万円  
・最終処分場維持管理費 7,655万円  
・ごみ収集処理費 7,458万円  
・簡易水道事業管理費 2億558万円

労働費 2,289万円(▲137万円)

・シルバー人材センター事業費 2,275万円

農林水産費 17億8,544万円(▲1億8,540万円)

・流域環境保全農業確立体制整備モデル事業 1,557万円  
・農産物販売促進対策事業 50万円  
・パパイヤ栽培共同プロジェクト研究 134万円  
・農業・農村振興総合対策事業 355万円  
・畜産基地建設事業償還金保全対策事業 594万円  
・農村振興総合整備統合補助事業 4億1,817万円  
・地域用水環境整備事業 1億1,203万円  
・海ぶどう要職施設造成事業 409万円  
・伊野田漁港漁港機能高度化 6,050万円  
・漁村活性化推進事業 140万円



教育費 26億9,223万円(▲2億7,068万円)

・平真小学校屋内運動場新增改築事業 4億4,100万円  
・あらかわ幼稚園新增改築事業 1億7,503万円  
・教材設備費 4,401万円  
・カウアイ郡中学生派遣事業 160万円  
・コミュニティ助成事業 100万円  
・石垣島マラソン大会事業 308万円  
・2学期移行事業費 124万円  
・選手派遣費 237万円  
・遠距離児童生徒通学対策費 273万円  
・へき地学校修学旅行費援助費 1,617万円

消防費 4億1,624万円(▲1,062万円)

・消防本部費4億882万円

土木費 20億7,408万円(▼7,123万円)

・中央運動公園屋内練習場 3億8,000万円  
・住宅建設費(富野・崎枝・白保団地) 1億5,042万円  
・都市計画街路事業(3.4.8など) 2億7,000万円  
・市道整備事業 4,545万円  
・公共下水道事業 2億4,238万円  
・港湾事業 1億5,300万円

商工費 2億6,320万円(▼1,236万円)

・観光地施設整備事業 1,035万円  
・石垣島トライアスロン対策準備費 1,750万円  
・地域特性活用型商店街活性化事業 100万円  
・バス停留所上屋新築工事 201万円

災害復旧費 1,617万円(▲1,617万円)

予備費 3,000万円

公債費 27億5,492万円(▼3億4,953万円)

・元金 22億3,152万円 ・利子 5億2,339万円

## 歳入

自主財源である市税が固定資産税の四、一九六万円減の影響があり総額で四、四〇二万円の減額。財産収入で公的機関への市有地売却払いなどで二億三、六四一円の増額。また、依存財源では地方譲与税が税源移譲により所得譲与税の八、〇〇〇万円の増などがあり一億二、九三三万円の増額。地方交付税は公立保育所運営費分の追加により二億九九〇万円の増額。また、国県支出金では補助事業の伸びに伴い四億八、五〇八万円の増となっています。このため、自主財源比率が昨年度より約〇.二%減となりましたが、自主財源自体は一億四、七九九万円の増額となっています。

## 歳出

歳出では性質別にみると、義務的経費の人員費が、一、二七三万円の減。公債費が昨年度で減税補てん償の一括償還が終了したことにより三億四、九五三万円の大幅な減額となりました。扶助費は、生活保護費、児童手当、児童扶養手当等の対象者の増加により九、六〇二万円の増加となっており、義務的経費は総額で二億六、六二三万円の減額となっています。

物件費、維持費は四、二二五万円減額、みやら保育所建設に伴う補助金などにより補助費が五、五九二万円の増額となっています。

投資的経費の普通建設事業費のうち補助事業費では、三六、七%、八億三、八七一万円の大幅増額となりました。一方で補助のない単独事業費では、一億一、七五八万円を減額し、普通建設事業費は総額で七億三、七二九万円の増額となっており、補助を活用し、限られた財源で有効に建設事業を展開することとなります。

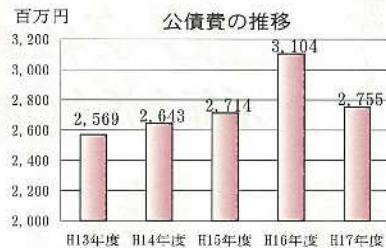
また、新規事業が放課後児童健全育成事業など、三一件、総額一億五〇一八万円計上されており、市民ニーズに即した事業の導入も図られています。



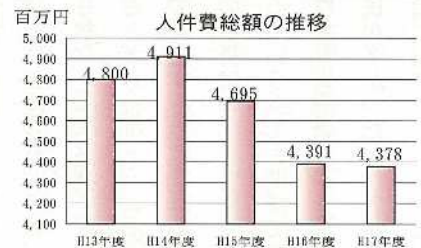
## 義務的経費の推移



- ・扶助費は、生活保護費や児童手当費、児童扶養手当費等が年次的に膨張
- ・扶助費は、ほとんどが国の政策によるもの



- ・H16年度の突出は、国の政策による減税補てん債の一括償還(約4億円)が影響
- ・公債費の実質的ピークはH17年度、今後は公債費負担適正化計画より減少化へ



- ・H17年度の人件費総額は、退職者不補充等の対策をとり前年度以下に抑制
- ・H16年度は給与4.5%カット、H17年度は人事院勧告に基づく本来の給与へ

## 事務事業費の推移



- ・介護保険特会、国民健康保険特会、老人保健特会等の保険給付費の増に伴う負担増
- ・港湾特会、下水道特会、農業集落排水特会等の旺盛な社会整備費への対応増



- ・物件費はH14年度以降、年次的に減少、第3次行革によるコスト低減効果等
- ・引き続きH17年度以降も(新)第4次行革大綱により経常経費の抑制化へ



- ・ともーるネット整備事業、平賀小屋体、あらかわ幼稚園整備、農村振興総合整備統合事業等の事業費増に伴い、前年度比で約7億円余(26.5%)の増を確保

## 主要一般財源の推移



- ・臨時財政対策債は、前年度比1億2,000万円程度の減



- ・地方交付税は、前年度当初予算比では約2億円程度の増、また決算比では約1億3,000万円程度の減となり、ほぼ前年度並となっている。



- ・H17年度は、前年度比4,400万円(1.2%)の減、各税目ごとに厳しく見積る
- ・市税は無理な予算の伸びを抑え、実質的な徴収増を図り決算黒字化へ

## 主要特定財源の推移



- ・H16年度の突出は、これまで可能な限り市民負担を軽減すべく据え置きしてきた使用料・手数料を本来の受益と負担に見合う適正見直しを図ったもの。



- ・建設地方債(道路建設や学校体育館建設等の借入金)は、将来の財政負担を考慮し、H17年度の返済元金(約22億円)以下とし、債務残高を減少化へ



- ・H17年度は、普通建設事業費及び扶助費の増に伴い、前年度比約5億円(10.7%)増
- ・普通建設事業費(補助事業費)の補助金増が歳入予算総額増加の要因



## 市長のおはようロマンメッセージ

## 自立の道を歩む

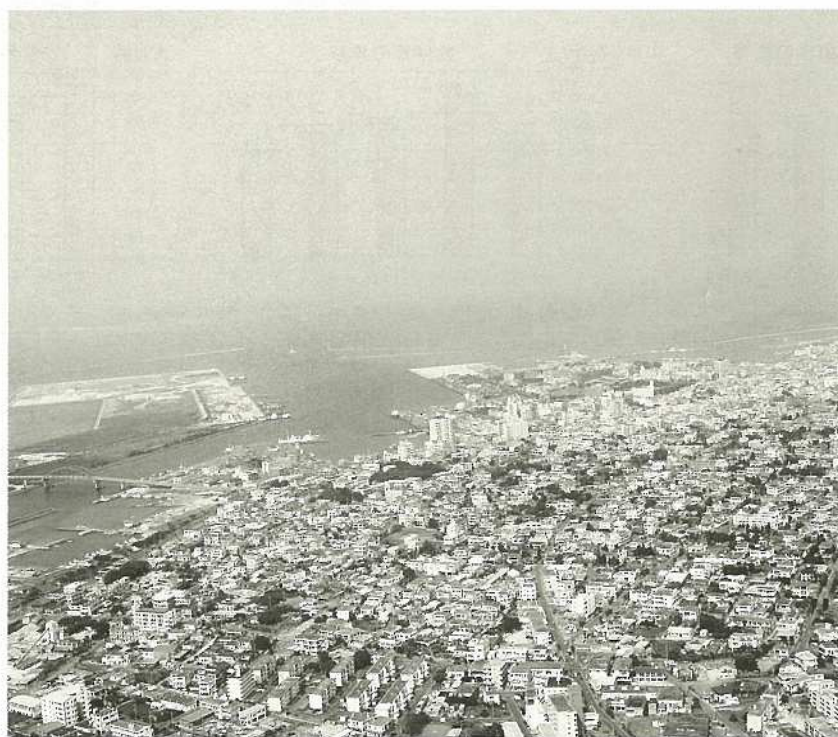
～元気と活力のあるまちづくりを～

私たちが強く望んでいました石垣市と竹富町の市町合併が、残念なことに幻の「八重山市」となりました。合併特例法による様々な優遇措置がある中で、八重山は一つという基本的な考え方を基に新しいまち、八重山市の将来を夢見て、将来のまちづくりを進めていくという気運にあったわけですが、竹富町議会の同意が得られなかったということは、残念に思います。その理由は、様々あるうかと思ひますが、平成十六年度を期限とした合併特例法の措置を受けながら、安定したまちづくりを進める上でも、この合併は避けられない重要な課題でした。

もとより合併そのものをあらゆる意味で肯定するわけではありませんが、今回の合併は、五万人クラスのよい人口規模の街ができるという点でも期待できることでした。住民投票や竹富町長選挙においても合併を望んでいたという住民が多かったわけですが、そのような住民意思が議会に反映されなかったということで、竹富町議会

の責任というものは、後世に大きな影響が残ると考えられます。

しかし、このような結果となりましたので、今後は大盛町政のもとで竹富町議会、住民の方々が力を合わせて、小さくても元気なまちをつくるという方向



に沿って発展することを石垣市としても望みます。

さて、石垣市も自立する道を歩むこととなりました。三月定例市議会で平成十七年度の予算が成立しましたが、昨年度、三位一体の改革の中で厳しい財政運営を余儀なくされました。平成十七年度予算では、

同様なことを避けることができ、各市民へお礼と感謝を申し上げると共にご理解も頂きたいと思います。

先般地元の新聞社で行った、石垣市の職員に対する給与面や勤務面での投稿の中で、様々な鋭い厳しい意見が掲載されました。中には勤務態度面に厳しい意見もありました。それが事実ならば、私たちも反省し、新聞等で指摘されたからではなく、日頃から当然行うべき公務員としての態度として適切に対応していく必要があります。職員の給与面においては、人事院勧告に従い給与を定めてられており、それに対応するものであります。民間企業が苦しいから、それに伴い公務員の給与も下げるべきだという話は一見して正当性があるように感じますが、国県市と公務員は身分が保障され、その業務を適正かつ公平に遂行するように労働条件も保障されていなければならないと思います。そういう意味で公務員は重い責任があります。石垣市を背負っていく重要な職務を負っている市職員ですので、今後ともプロ意識を持ち、市民からあらぬ批判がないように職員へ要望します。

さて、高齢化、少子化、情報化など、市町村に押し寄せてくる荒波は強く大きなものがありますが、私たちはしっかりと地方自治を進め、さらに強力にまちづくりを進めていかなければならないと痛感しております。あらゆる意味で昨年以上に、元気と活力のあるまちになると期待を強くしています。

（三月二十九日放送の「市長のおはようロマンメッセージ」要旨です。）



シリーズ固定資産税とは①

4月 は 固定資産税の納期です。

# ところで固定資産税って何？



土地、家屋及び償却資産を総称して**固定資産**といいます。固定資産税とは、毎年1月1日（「賦課期日」といいます。）に、を所有している人がその固定資産の価格をもとに算定された税額をその固定資産の所在する市町村に納める税金です。

## 納税義務者等

固定資産税の納税義務者等は、原則として固定資産の所有者です。具体的には次のとおりです。

- 土地については、土地登記簿または土地補充課税台帳
  - 家屋については、建物登記簿または家屋補充課税台帳
  - 償却資産については、償却資産課税台帳
- にそれぞれ**所有者として登記または登録されている方**をいいます。

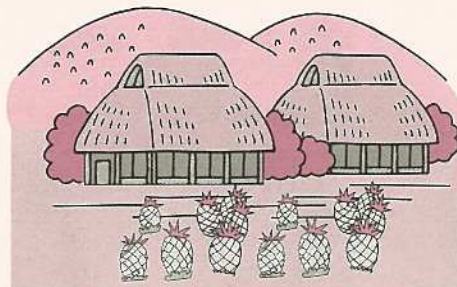
※ただし、所有者として登記（登録）されている人（法人）が、賦課期日前に死亡（消滅）している場合等には、賦課期日現在でその土地、家屋を「現に所有者」が納税義務者となります。

※前年中において売買などにより固定資産の実際の所有者は新所有者に変わっていても、その年の1月1日現在、まだ登記簿の名義変更手続が完了していない場合は、旧所有者が納税義務者となります。

## 課税の流れ

固定資産税は、次のような手順で税額が決定され、納税者に通知されます。

- ①固定資産を評価してその価格を決定し、その価格をもとに課税標準額を算定します。
- ②課税標準額 × 税率 = 税額 となります。
- ③税額等を記載した納税通知書を納税者あてに通知します。



お問合せは 税務課資産税係 ☎82-9911 内線156, 157

## C型肝炎ウイルス検査受診 心あたりのある方は検査を受けて下さい

フィブリノゲン製剤の投与を受けた可能性のあると思われる方は、一度血液検査を受けてください。

次に該当する方々については、C型肝炎ウイルス検査を受診されることをおすすめします。C型肝炎ウイルス検査は、多くの保健所、市町村等で検査を安く受けられるよう、体制の整備に努めているほか、医療機関などで受けることができます。

### 【検査受診の呼びかけの対象者】

- ▼平成6年以前に公表医療機関で治療を受け、下記①～⑤に該当された方
- ①妊娠中又は出産時に大量の出血をされた方
- ②大量に出血するような手術を受けた方
- ③食道静脈瘤の破裂、消化器系疾患、外傷などにより大量の出血をされた方
- ④がん、白血病、肝疾患などの病気で「血が止まりにくい」と指摘を受けた方
- ⑤特殊な腎結石・胆石除去（結石をフィブリン塊に包埋

して取り除く方法）、気胸での胸膜接着、腱・骨折片などの接着、血が止まりにくい部分の止血などの治療を受けた方（これらの治療は、フィブリノゲン製剤を生体接着剤のフィブリノゲン糊として使用した例で、製薬会社から厚生労働省へ報告されたものです。詳しくは治療を受けた医療機関に直接お尋ね下さい。）

▼以下のような方々は、C型肝炎ウイルス感染の可能性が一般より高いと考えられています。

- 1992（平成4）年以前に輸血を受けた方
- 長期に血液透析を受けている方
- 輸入非加熱血液凝固因子製剤を投与された方
- 前記と同等のリスクを有する非加熱凝固因子製剤を投与された方
- フィブリノゲン製剤（フィブリノゲン糊としての使用を含む）を投与された方
- 大きな手術を受けた方
- 臓器移植を受けた方
- 薬物濫用者、入れ墨をしている方
- ボディピアスを施している方
- その他（過去に健康診断等で肝機能検査の異常を指摘されているにもかかわらず、その後肝炎の検査を実施していない方等）

### 【お問合せ】

石垣市健康福祉センター ☎88-0088



# 民生委員・児童委員紹介

石垣市民生委員・児童委員協議会(屋比久清光会長は、総勢七〇名の委員で構成され、地域福祉の増進を図るため、自主活動、協力活動を常時行っています。委員の皆さんは次のとおりです。



新城スエ  
☎82-5319  
担当:大川3町内



仲地るみ子  
☎83-0735  
担当:登野城8町内下



親盛弘  
☎82-5181  
主任児童委員



多宇久美子  
☎86-7195  
担当:白保(北)



仲山仲子  
☎83-6104  
担当:真栄里(西)



後盛和子  
☎82-0198  
担当:大川4町内西



新城政子  
☎82-5032  
担当:登野城5町内東



下野澄  
☎82-4775  
主任児童委員



世持カツ子  
☎86-7912  
担当:白保(南)



新城悦子  
☎82-4728  
担当:大浜(上)



下地房子  
☎82-4706  
担当:大川4町内東



波照間永紘  
☎83-3865  
担当:登野城7町内上



三木京子  
☎82-3151  
担当:登野城1町内



金城ソノエ  
☎86-2286  
担当:桃里



下野ヨシ子  
☎82-3514  
担当:大浜(下)



野原伸子  
☎82-2505  
担当:平得(西)



新垣タケ  
☎82-2066  
担当:大川5町内



砂川良子  
☎82-7695  
担当:登野城7町内下・八島町



玉元美智代  
☎82-2531  
担当:登野城2町内下



仲里カツ  
☎89-2231  
担当:伊原間・明石



前津英次  
☎83-2790  
担当:大浜(南)



東宇里永清  
☎83-5589  
担当:平得(東)



浦原英  
☎82-6962  
担当:浜崎町



上原恵子  
☎82-7018  
担当:登野城6町内



具志堅みえ子  
☎82-6526  
担当:登野城3町内



大松正昭  
☎89-2138  
担当:久宇良〜平野



玻座真愛子  
☎83-2978  
担当:磯辺



西表直子  
☎82-9628  
担当:平得(南)



與那国久枝  
☎82-5083  
主任児童委員



本村和子  
☎82-2110  
担当:登野城5町内西



大原恵子  
☎82-2439  
担当:登野城4町内



又吉哲夫  
☎89-2534  
担当:野底・伊土名



仲間和子  
☎86-7135  
担当:宮良(西)



大山幸子  
☎82-9300  
担当:真栄里(中)



船附義一  
☎82-6263  
主任児童委員



仲若裕子  
☎82-3650  
担当:大川12町内



嘉平芳子  
☎82-2301  
担当:登野城2町内上



上原一枝  
☎82-5984  
担当:川原〜おもと



宮平初枝  
☎86-7478  
担当:宮良(東)



西原茂充  
☎82-5998  
担当:真栄里(東)



終戦60年 ばがー島への平和メッセージ

## 回想とぅばらーま

### 歌詞募集

今年は太平洋戦争・沖縄戦終結から60年の節目の年にあたります。

悲慘な戦争の教訓を継承し後世の人々に正しく伝え、世界の恒久平和を実現することは、現代に生きる私たちの使命です。

石垣市では、広く愛唱されている無形の文化遺産であるとぅばらーまの歌詞を公募し「とこしえに平和を求めてやまない石垣市民の心」を歌詞に込め世界の恒久平和を願い、市内外へ発信していきます。

下記のとおり歌詞を募集しますので、ふるってご応募ください。

#### 【応募方法】

- 1 未発表のもので1人2点以内
- 2 自作の歌詞を官製はがき、又は封書に住所、氏名、電話番号を記入のうえ応募期限内に必着するよう送付または、直接担当まで提出すること
- 3 従来応募された作品は、審査の対象としない
- 4 審査は、平成17年6月10日に行う
- 5 入賞作品の表彰は、6月17日(金)に行う
- 6 入賞者の作品は、慰霊の日「石垣市全戦没者追悼式並びに平和祈念式」に歌唱する
- 7 応募作品は、返却いたしません

#### 【応募期間】

4月25日(月)～5月20日(金)

#### 【審査】

審査委員会を設け実施する

#### 【主催】 石垣市

#### 【お問合せ】

広報広聴課 ☎82-1243



川満京子  
☎83-6990  
担当:名蔵・元名蔵・高田



当山高子  
☎82-4733  
担当:真喜良下



宮良玲子  
☎82-8310  
担当:新川1町内・3町内



黒島小夜子  
☎82-3527  
担当:石垣1町内



野底ヒデ  
☎88-2248  
担当:川平



山田サダ  
☎83-1012  
担当:新栄町東



古見久子  
☎82-5126  
担当:新川5町内



崎枝清子  
☎82-8200  
担当:石垣2町内



崎山多津美  
☎82-3075  
主任児童委員



比嘉功  
☎83-0067  
担当:新栄町中



武藤勝紀  
☎83-5791  
担当:新川2町内上



赤山正子  
☎82-4835  
担当:石垣3町内



池城八重子  
☎82-5078  
主任児童委員



新垣能一  
☎82-1074  
担当:新栄町西



長濱正茂  
☎82-8077  
担当:双葉上



大浜英博  
☎82-4719  
担当:石垣2町内・4町内一部



屋比久清光  
☎82-4127  
担当:浜崎町



譜久盛陽子  
☎82-9138  
新川4町内



船附トモエ  
☎82-6263  
担当:石垣4町内



濱田エイ子  
☎82-7623  
担当:新川団地(県営・市営)



長浜千代  
☎83-0610  
双葉下



石垣吉民  
☎82-2097  
担当:石垣4町内



新里高敏  
☎83-2164  
担当:真喜良団地(1～3)



平安山英浩  
☎82-3868  
担当:真喜良上



宮良あい子  
☎82-4071  
担当:新川2町内下・5町内

なお、登野城七町内中、大川一町内、真喜良、崎枝の担当者に  
ついては、未定となっています。  
【お問合せ】 福祉課 ☎八二五〇四五



## 危険物取扱者試験

- 【日時】 平成17年7月10日(日)午前10時開始  
 【種類】 甲種、乙種(第1～6類)、丙種  
 【会場】 八重山農林高校、沖縄国際大学、北部農林高等学校、宮古工業高等学校  
 【願書受付期間】 平成17年5月30日～6月3日  
 【受験案内書配布場所】  
 石垣市消防本部、消防試験研究センター  
 【受付方法】 受験願書を消防試験研究センターは郵送又は直接窓口へ持参  
 【お問合せ】  
 (財)消防試験研究センター沖縄県支部  
 〒900-0029 那覇市旭町116-30自治会館5階  
 ☎098-867-5332

## 青年海外協力隊/シニア海外ボランティア募集

- アジア、アフリカ、中南米、中近東などの開発途上国の人々のために、自分の持っている技術や経験を活かしてみたい、という方々のためのボランティア制度です。  
 【応募資格】  
 青年海外協力隊20～39歳、シニア海外ボランティア40～69歳  
 【募集期間】 5月20日(金)まで  
 【体験談発表・募集説明会】  
 5月8日(日) JICA沖縄(沖縄国際センター)  
 14:30～16:30  
 【お問合せ】  
 JICA沖縄 ☎098-876-6000

## 労働安全衛生法に基づく免許試験

- ☆試験日 平成17年11月5日(土)  
 【試験会場】 八重山商工高等学校  
 【試験の種類】 第一種衛生管理者、第二種衛生管理者、潜水土、二級ボイラー技士、クレーン運転士、移動式クレーン運転士  
 ☆試験日 平成17年11月6日(日)  
 【試験会場】 沖縄国際大学  
 【試験の種類】 第一種衛生管理者、第二種衛生管理者、潜水土、二級ボイラー技士(A、B)、ボイラー整備士、クレーン運転士、移動式クレーン運転士、揚貨装置運転士、林業架線作業主任者  
 【お問合せ】  
 (社)沖縄県労働基準協会 ☎098-868-2826

## あなたの経験をシルバー人材センターで活かしませんか?

シルバー人材センターとは高齢者にふさわしい仕事を家庭・事業所・公共団体等から引き受け、会員に提供する都道府県知事許可の公益法人です。自主的な会員組織で、会員が役員を選び、組織や事業の運営に参画します。就業や収入の保証はありませんが、各人の希望と能力に応じた働き方ができ、働いた仕事の内容に応じて「配分金」を支払います。また、会員の技能、技術を高めるため各種の講習を実施しています。元気で働くことにより地域社会とのふれあいを高め、いきいきとした生活を楽しむためのシステムです。

### 【会員希望】

- ・原則60歳以上の健康で働く意欲のある方
- ・シルバー人材センターの趣旨に賛同した方
- ・入会説明を受け、入会申込書を提出し、理事会から入会承認が得られた方
- ・定められた会費を納入された方

### 【お問合せ】

(社)石垣市シルバー人材センター ☎83-8439

## 「新しい自治のあり方」で講演会を開催

下記の日程で(社)八重山青年会議所が穂坂邦夫氏(埼玉県志木市長)を講師に招き、「新しい自治体のあり方」と題した講演会を開催します。入場は無料となりますので、多くの市民のご参加をお待ちしています。

### 【講演】

「新しい自治のあり方」

講師 埼玉県志木市長 穂坂邦夫氏

【日時】平成17年4月30日(土)午後7時～9時

【場所】石垣市民会館中ホール

【主催】(社)八重山青年会議所

【後援】石垣市

【お問合せ】(社)八重山青年会議所 ☎82-6566

## 水質検査計画の公表

石垣市水道部では、今後の安全でおいしい水を市民の皆様へ供給するため、平成十七年度の水質検査計画を策定しました。

この計画は、原水から浄水処理、配水及び末端給水に至るまでの水質状況等を確認するため、水道水の水質検査地点や検査項目並びに検査頻度等について検討した内容となっています。

なお、次年度以降の計画等については、市民の皆様からのご意見を基に見直しを行いますので、水質検査計画に対するご意見をお寄せ下さい。

一、閲覧場所 石垣市水道部施設課  
 ☎八三・四〇四七



## 国内ベストダイビングエリアに石垣島が5年連続1位

国内で高い発行部数を誇るダイビング雑誌「マリンダイビング」、「マリンフォト」、「海と島の旅」の共同企画による「ダイブ&トラベル大賞2005」で石垣島が国内ベストダイビングエリアに5年連続で1位に選ばれました。

同企画は2000年からスタートし、国内のダイバーとマリンレジャーを楽しむ読者が、投票はがきなどにより各部門を選出。これにより選出された場所等は、ダイビングやリゾート旅行で人気のある場所とされており、同誌の読者への影響は大きなものがあります。

石垣島が5年連続で国内ベストダイビングエリアに選ばれたことは、観光立市の石垣市にとっては大きな誇りとなるもの。同企画では同時に様々な部門の選出も行っており、国内ベストダイビングリゾートにクラブメッド・川平(2位)、石垣全日空ホテル&リゾートホテル(5位)、シーマンズクラブリゾートホテル(7位)、国内ベストダイビングサービス(ダイビングショップ)にブルーウォーター・ダイバーズ(6位)、シーマンズクラブダイビングサービス(8位)、またベストダイビングガイドに那須弘幸さん(4位)が上位に選ばれるなど、ダイビング関係者も高い評価を受けています。

また、これから行きたいエリアの国内3位に選ばれており、ますます石垣島が注目を集めていくこととなりそうです。



## 南の島の星まつりが第9回イベント大賞優秀賞に選ばれる

知名度アップと地域住民との連携が評価される

財団法人地域活性化センターと全国58新聞社の共催で実施する「第9回ふるさとイベント大賞」に「南の島の星まつり2004」が選ばれました。全島ライトダウンにより天然資源である「星」を最も美しい形で見えるユニークな試みと、地域の知名度アップやイメージ向上に貢献している点や、全島挙げてイベントに協力していることなどが評価されました。

4月11日に開催された平成17年度地域活性化フォーラムで主催者を代表し、大濱長照石垣市長、通事安夫NP0八重山星の会会長が表彰されました。

同大賞は平成8年度から実施されており、今年度は全国から136点の応募の中から大賞に次ぐ賞に選ばれました。天体観望を中心とした「星まつり」イベントの受賞は、全国初のことです。



## STOP THE 赤土

平成16年度赤土流出防止に関するポスター・標語



←(小学生の部最優秀賞)  
宮良小六年 成底美久さん

伊野田小三年 前盛よもぎさん

みんなでいっしょに赤土たいさく  
サンゴや魚たちもおよろこび!!

## 市役所のおまわりさん

4月1日、沖縄県警から派遣された沖山秀彰氏へ大濱長照市長より辞令が交付されました。

平成15年度から県警より現職警察官大城辰男氏が派遣を受けておりましたが、今年度から八重山警察署地域課長を努めていた沖山氏が後任として派遣されました。辞令交付で大濱市長は「交通安全対策を主に活躍していただきたい」と期待を表し、沖山氏は「県警で常に出身地である石垣市を思いながら勤めてきた。安全・安心な住みよいまちづくりをしていきたい。」と抱負を話しました。石垣市では平成15年に石垣市交通安全条例を定め、市民の交通安全対策に積極的に取り組んでおり、同氏の活躍が期待されます。







# 市民カレンダー

5/1~6/4

日 月 火 水 木 金 土

5/1	2	3	4 ・市民相談室(行政) ・市民相談室(法律)	5	6	7
8	9 ・両親学級	10 ・離乳食実習	11 ・市民相談室(法律)	12 ・1歳6ヶ月、3歳児健診 ・市民相談室(人権)	13 ・遠隔地乳幼児保健相談	14
15 ・石垣島トライアスロン大会	16	17 ・妊産婦・乳幼児保健相談	18 ・両親学級 ・麻疹予防接種 ・市民相談室(法律) ・市場の日	19 ・麻疹予防接種 ・2歳児歯科指導 ・市民相談室(人権)	20	21
22	23 ・ルーキーママの集い	24	25 ・市民相談室(法律) ・市民ロビーコンサート	26 ・1歳6ヶ月健診	27	28 ・乳児検診
29	30	31	6/1 ・市民相談室(行政) ・市民相談室(法律)	2	3	4

※上記の事業・行事は、あくまでも予定です。各関係機関へご確認のうえ、ご参加ください。

## ストップ・ザ・滞納!! 4月・5月は、市税徴収強化月間

石垣市では、滞納処分(給与や預貯金等の差押)実施中です。

◎納税は、自主納付が原則となっておりますが、督促状や催告を行っても納めていただけない場合、税負担の公平性確保のため差押えを行っております。

納付が遅れている方、納付が困難な方はお早めにご相談下さい。 石垣市税務課